



環境マネジメントシステム (EMS) 維持審査 及び拡張審査が終了しました

審査を受けての主な所見

- 1～4階の作業現場、事務所および一般・産業廃棄物置場、廃油産業廃棄物置場、少量危険物貯蔵場所、ゴミ分別場等を巡回したが、新聞印刷部の廃油処理コーナーに未だ廃油の残ったままのペール缶が置かれていた。
- 非定常時の環境側面として、廃家電製品や廃自動車があげられていない。ただ、環境法規制等一覧表による順守評価では家電・自動車リサイクル法はチェックできていた。

- 緊急事態の準備の精度を上げるためには、その火災が想定される原因(もらい火、漏電など)を特定されることが望まれた。
- 油倉庫に廃油(産業廃棄物)があり表示されていたが法的要求を満たしていなかった。



不適合は2つありました。

- 非定常時の環境側面として、廃家電製品があげられていたが、法規制等順守評価記録による順守評価ができていなかった。

- 事務所には冷蔵庫、テレビ用ディスプレイがあるが2015年現状の環境側面調査結果において廃棄時(非定常時)として特定されていなかった。

審査を受けての各部のコメント






- 5Sをきちんとやれば、仕事もISOもうまくまわると言われ納得。
- 整理整頓出来ていると自信があったのに、まだまだ出来ると言われた。
- 他部門の指摘を自部門でも確認したところ、出来ていなかったため見直しをしている。
- 仕組みやルールを守ることが大切であることに気づかされた審査でした。
- ISOに対する理解力(自部門の把握)が足りなかった。

審査の結論

今回審査の範囲において、貴社マネジメントシステムの一部に不適合事項が見られた。当該不適合事項の是正対応により規格要求事項等の審査基準に適合と判断でき、またシステム／プロセスの運用状況、有効性／妥当性については認証を阻害する重大事案はなく、是正対応の確認後、認証維持を推薦する。

15年度目標進ちょく状況(4～7月分)

環境目標	15年度目標値	15年度4～7月実績値
 省エネ活動	各部門で異なる目標	17項目中 4項目が未達成
 一般廃棄物容量の削減	14年度比 -1%	57,831.9ℓ (14年度4～7月比 -16,313.9ℓ、-22.00%)
 コピー機 カウンター数の削減	14年度比 -1%	242,151カウンター (14年度4～7月比 -16,227カウンター、-6.28%)

ISO標語 「もったいない!」は“即実行”の合い言葉